

ロジックモデル（脳卒中）

改善率 5%

番号	C初期アウトカム指標			最新値 (人口10万対eto)		R11 目標値	
1	予防・啓発	出典資料 名称	出典資料 調査年	埼玉県	全国	埼玉県	コメント・考え方
	①	県民公開講座、メディア等を使った啓蒙活動の実施回数	R4	13		18	独自指標
	②	喫煙率	R4	15.2		12	県の「健康長寿計画」と一致させる
	③	特定健康診査の実施率	R3	56.0	56.2	70	県の「健康長寿計画」と一致させる
	④	特定保健指導の実施率	R3	18.7	24.7	45	県の「健康長寿計画」と一致させる
2	救護	出典資料 名称	出典資料 調査年	埼玉県	全国	埼玉県	コメント・考え方
	①	脳卒中疑い患者に対して主幹動脈閉塞を予測する6項目（※）の観察指標を利用している消防本部数	R4	—		26	R4年度までは、別の項目を利用。 県内全消防本部での利用を目指す。（R5.8月に医療連携課から通知を送付し、R5.10月から適用）
3	急性期	出典資料 名称	出典資料 調査年	埼玉県	全国	埼玉県	コメント・考え方
	①	脳梗塞に対するt-PAによる血栓溶解療法の実施可能な医療機関数	NDB	R3	データなし	＊	横ばいとする
	②	脳卒中の相談窓口を設置している急性期脳卒中診療が常時可能な医療機関数	R4	0.1	0.2	＊	改善率の分だけ上げる
	③	脳梗塞に対する血栓回収療法の実施件数	NDB	R3	10.4	＊	横ばいとする （最新値が高いため）
	④	くも膜下出血に対する脳動脈瘤クリッピング術の実施件数	NDB	R3	4.9	＊	4.90 （最新値が高いため）
	⑤	くも膜下出血に対する脳動脈瘤コイル塞栓術の実施件数	NDB	R3	3.8	＊	3.80 （最新値が高いため）
4	回復期・維持期・生活期	出典資料 名称	出典資料 調査年	埼玉県	全国	埼玉県	コメント・考え方
	①	両立支援コーディネーター基礎研修の受講者数	(特)労働省健康安全機構の調査報告書 R4	4.8	9.7	＊	5.04 改善率の分だけ上げる
	②	脳卒中リハビリテーションが実施可能な医療機関数	NDB	R3	データなし	＊	3.68 改善率の分だけ上げる
	③	脳卒中患者における介護連携指導の実施件数	NDB	R3	8.9	2.4	＊ 8.90 （最新値が高いため）
5	再発・重症化予防	出典資料 名称	出典資料 調査年	埼玉県	全国	埼玉県	コメント・考え方
	①	脳卒中患者の重症化を予防するためのケアに従事している看護師数	日本看護協会 R4	0.5	0.6	＊	0.53 改善率の分だけ上げる 脳卒中リハビリテーション看護認定看護師あるいは脳卒中認定看護師の割合
	②	脳卒中・心疾患に対応可能な歯科医療機関数	R4	1,011		1,200	県の「歯科口腔保健推進計画」の内容を反映
	③	脳卒中による入院と同月に摂食機能療法を実施された患者数	NDB	R3	109.9	148.7	＊ 115.4 改善率の分だけ上げる

※主幹動脈閉塞を予測する6項目の観察指標
脈不整、共同偏倚、半側空間無視（指4本法）、失語（眼鏡/時計の呼称）、顔面麻痺及び上肢麻痺の6項目

番号	B中間アウトカム指標			最新値 (人口10万対eto)		R11 目標値	
1	【予防・救護】 重症疾患および危険因子の管理ができて いる。 患者が早期に専門医療機関に搬送される。	出典資料 名称	出典資料 調査年	埼玉県	全国	埼玉県	コメント・考え方
	①	脳血管疾患により救急搬送された患者数	患者調査	H29	0.20	0.20	＊ 0.21 改善率の分だけ上げる
	②	救急要請（覚知）から医療機関への収容までに要した平均時間	救急救助の状況	R3	47.4	42.8	39.4 県医療整備課による「救急医療」の指標
	③	高血圧性疾患患者の年齢調整外来受療率	患者調査	R2	217.8	215.3	228.69 改善率の分だけ上げる
	④	脂質異常症患者の年齢調整外来受療率	患者調査	R2	62.0	67.7	65.1 改善率の分だけ上げる

番号	B中間アウトカム指標			最新値 (人口10万対eto)		R11 目標値	
2	【急性期・回復期・維持期・生活期・再発・重症化予防】 患者が専門的な治療やリハビリテーションを受けることができる。	出典資料 名称	出典資料 調査年	埼玉県 実数	全国 実数	埼玉県 10万人対の値	全国
	①	脳卒中患者に対するリハビリテーションの実施件数	NDB	R3	632	714	＊ 663.92 改善率の分だけ上げる
	②	脳卒中患者における地域連携計画作成等の実施件数	NDB	R3	13	19	＊ 14.07 改善率の分だけ上げる
	③	退院患者平均在院日数	患者調査	R2	88.4	86.5	83.98 改善率の分だけ下げる
	④	在宅等生活の場に復帰した患者の割合	患者調査	R2	59.2	50.0	62.16 改善率の分だけ上げる

＊は人口10万人対換算

番号	A分野アウトカム指標						R11 目標値	
1	脳卒中による死亡が減少している。 脳血管疾患患者が日常生活の場で 質の高い生活を送ることができている。		出典資料 名称	出典資料 調査年	埼玉県	全国	埼玉県	コメント・考え方
	①	脳血管疾患の年齢調整死亡率 (男)	埼玉県・埼玉 県の健康指標 総合ソフト 全国分・人口 動態特殊報告	R3	93.4	93.7	61.3	2012～2019の推移から推 測されるR11推計値。 ※年ごとのずれ幅を考慮 し、約9割の確率で見込ま れる値
		脳血管疾患の年齢調整死亡率 (女)	埼玉県・埼玉 県の健康指標 総合ソフト 全国分・人口 動態特殊報告	R3	58.0	55.1	37.9	
	②	健康寿命(男)	埼玉県の健 康指標総合 ソフト	R3	18.01		18.83	県の『健康長寿計画』と一 致させる ※全国と埼玉県とで算出方 法が異なるため、全国値は 空白
		健康寿命(女)	埼玉県の健 康指標総合 ソフト	R3	20.86		21.58	

モニタリング指標（脳卒中）

数値等の増減を比較せず、経過を観察する指標

モニタリング		出典資料 名称	出典資料 調査年	埼玉県	全国	10万人対 の値
①	脳神経内科医師数	医師・歯科医師・薬剤師統計	R2	2.7	4.6	＊
②	脳神経外科医師数	医師・歯科医師・薬剤師統計	R2	3.9	5.9	＊
③	脳卒中の専用病室を有する病院数	医療施設調査	R2	0.1	0.2	＊
④	脳卒中の専用病室を有する病床数	医療施設調査	R2	1.1	1.3	＊
⑤	理学療法士の人数	医療施設調査	R2	61.7	80.8	＊
⑥	作業療法士の人数	医療施設調査	R2	27.7	40.9	＊
⑦	言語聴覚士の人数	医療施設調査	R2	10.4	14.3	＊
⑧	リハビリテーション科医師数	医師・歯科医師・薬剤師統計	R2	1.5	2.3	＊

ロジックモデル（心血管疾患）

改善率 5%

番号	C初期アウトカム指標				最新値 (人口10万対 ^{etc})		R11 目標値	コメント・考え方
1	予防・啓発		出典資料 名称	出典資料 調査年	埼玉県	全国	埼玉県	
	①	県民公開講座、メディア等を使った啓発活動の実施回数	R4		11			18 県独自指標
	②	喫煙率	国民健康・栄養調査	R4	15.2			12 県の「健康長寿計画」と一致させる
	③	特定健康診査の実施率	特定健康診査の実施状況	R3	56.0	56.2		70 県の「健康長寿計画」と一致させる
	④	特定保健指導の実施率	特定健康診査・特定保健指導に関するデータ	R3	18.7	24.7		45 県の「健康長寿計画」と一致させる
2	救護		出典資料 名称	出典資料 調査年	埼玉県	全国	埼玉県	コメント・考え方
	①	心肺機能停止傷病者全搬送人員のうち、一般市民による除細動の実施件数	救急救助の状況	R3	1.7	1.4		1.7 横ばいとする
3	急性期		出典資料 名称	出典資料 調査年	埼玉県	全国	埼玉県	コメント・考え方
	①	心臓血管外科手術が実施可能な医療機関数	NDB	R3	0.2		*	0.21 改善率の分だけ上げる
	②	心血管疾患について、急性期の診療が常時可能であり、また患者相談を行っている医療機関数		R5	1		11	県独自指標※「患者相談」は、院外患者も対象とする。最新値1は、国際医療センター
	③	急性心筋梗塞患者に対するPCI実施率	NDB	R3	0.89	0.887		0.89 横ばいとする（最新値が高いため）
	④	PCIを施行された急性心筋梗塞患者数のうち、90分以内の冠動脈再開通割合	NDB	R3	0.57	0.54		0.6 改善率の分だけ上げる
	⑤	虚血性心疾患に対する心血管外科手術件数	NDB	R3	8.2		*	8.61 改善率の分だけ上げる
4	回復期・慢性期		出典資料 名称	出典資料 調査年	埼玉県	全国	埼玉県	コメント・考え方
	①	国立支援コーディネーター基礎研修の受講者数	①「労働健康調査」は全職種の養成研修※	R4	4.8	9.7	*	5.04 改善率の分だけ上げる
	②	心不全緩和ケアトレーニング受講人数	心不全学会	R4	0.3	0.9	*	0.32 改善率の分だけ上げる
	③	心大血管リハビリテーション科届出医療機関数	診療報酬施設基準	R3	0.7	1.2	*	0.74 改善率の分だけ上げる
	④	心血管疾患における介護連携指導の実施件数	NDB	R3	44.9	79.2	*	47.15 改善率の分だけ上げる
	⑤	心血管疾患患者における地域連携計画作成等の実施件数	NDB	R3	0.6		*	0.63 改善率の分だけ上げる
5	再発・重症化予防		出典資料 名称	出典資料 調査年	埼玉県	全国	埼玉県	コメント・考え方
	①	慢性心不全の再発を予防するためのケアに従事している看護師数	日本看護協会	R4	0.2	0.4	*	0.21 改善率の分だけ上げる
	②	脳卒中・心疾患に対応可能な歯科医療機関数		R3	1,011			1,200 県の「歯科口腔保健推進計画」の内容を反映

番号	B中間アウトカム指標				最新値		R11 目標値	コメント・考え方
1	【予防・救護】基礎疾患および危険因子の管理ができていて、患者が早期に専門医療機関に搬送される。		出典資料 名称	出典資料 調査年	埼玉県	全国	埼玉県	
	①	救急要請（覚知）から救急医療機関への搬送までに要した平均時間	救急救助の状況	R3	47.4	42.8	39.4	県医療整備課による「救急医療」の指標
	②	高血圧性疾患患者の年齢調整外来受療率	患者調査	R2	217.8	215.3	228.69	改善率の分だけ上げる
	③	脂質異常症患者の年齢調整外来受療率	患者調査	R2	62.0	67.7	65.1	改善率の分だけ上げる

番号	B中間アウトカム指標				最新値		R11 目標値	コメント・考え方
2	【急性期・回復期・維持期・生活期・再発・重症化予防】患者が専門的な治療やリハビリテーションを受けることができる。		出典資料 名称	出典資料 調査年	埼玉県	全国	埼玉県	
	①	心血管疾患の退院患者平均在院日数	患者調査	R2	20.6	24.4	19.57	改善率の分だけ下げる
	②	虚血性心疾患の退院患者平均在院日数	患者調査	R2	7.2	12.4	7.20	横ばいとする（最新値が良好なため）
	③	在宅等の生活の場に復帰した虚血性心疾患の割合	患者調査	R2	91.5	93.0	93.0	高い値のため、改善率ほどの上昇は困難。全国平均と同値とする
	④	在宅等の生活の場に復帰した大動脈疾患患者の割合	患者調査	R2	76.2	72.3	76.20	横ばいとする（最新値が良好なため）

*は人口10万人対換算

番号	A分野アウトカム指標				最新値		R11 目標値	コメント・考え方
1	心血管疾患による死亡が減少している。心血管疾患患者が日常生活の場で質の高い生活を送ることができる。		出典資料 名称	出典資料 調査年	埼玉県	全国	埼玉県	
	①	心疾患の年齢調整死亡率（男）	埼玉分：埼玉県の健康指標報告ソフト 全国分：人口動態特殊報告	R3	219.5	193.8	174.3	2012～2019の推移から推測されるR11推計値から、改善率の分だけ下げたもの。
		心疾患の年齢調整死亡率（女）	埼玉分：埼玉県の健康指標報告ソフト 全国分：人口動態特殊報告	R3	128.3	110.2	92.1	※年ごとの振れ幅を考慮し、約9割の確率で見込まれる値
	②	虚血性心疾患の年齢調整死亡率（男）	埼玉分：埼玉県の健康指標報告ソフト 全国分：人口動態特殊報告	R3	101.9	72.8	71.7	2012～2019の推移から、埼玉県と全国R11推計値を算出（※振れ幅考慮済み） R11の埼玉と全国との乖離度を測り、乖離度をH27年度並みに縮めるものとして計算
		虚血性心疾患の年齢調整死亡率（女）	埼玉分：埼玉県の健康指標報告ソフト 全国分：人口動態特殊報告	R3	45.6	29.6	28.2	
	③	健康寿命（男）	埼玉県の健康指標報告ソフト	R3	18.01		18.83	県の「健康長寿計画」と一致させ、全国と埼玉県とで算出方法が異なるため、全国値は空白
		健康寿命（女）	埼玉県の健康指標報告ソフト	R3	20.86		21.58	

モニタリング指標（心血管疾患）

数値等の増減を比較せず、経過を観察する指標

モニタリング	出典資料 名称	出典資料 調査年	埼玉県	全国	10万人 の対比	
①	循環器内科医師数	医師・歯科医 師・薬剤師統 計	R2	6.1	10.4	*
②	心臓血管外科医師数	医師・歯科医 師・薬剤師統 計	R2	1.9	2.6	*
③	心臓内科系集中治療室（CCU）を有する 医療機関数	医療施設調査	R2	0.2	0.2	*
④	心臓内科系集中治療室（CCU）を有する 医療機関の病床数	医療施設調査	R2	1.2	1.3	*
⑤	心不全療養指導士の人数	心不全療養指 導士名簿	R4	3.3	4.2	*
⑥	心臓リハビリ指導士の人数	全国指導士名 簿	R4	2.7	5.6	*
⑦	心不全の年齢調整死亡率（男）	人口動態特殊 報告	H27	14.5	16.5	
⑧	心不全の年齢調整死亡率（女）	人口動態特殊 報告	H27	12.5	12.4	
⑨	大動脈瘤及び解離 の年齢調整死亡率 （男）	人口動態特殊 報告	H27	5.7	6.4	
⑩	大動脈瘤及び解離 の年齢調整死亡率 （女）	人口動態特殊 報告	H27	3.0	3.3	
⑪	心筋梗塞の年齢調整死亡率（男）					
⑫	心筋梗塞の年齢調整死亡率（女）					